

### 第3回（仮称）高知広域連携中枢都市圏ビジョン策定懇談会 議事概要

#### ■連携事業の検討状況について

[全般]

- ・ 全市町村が参加しているからこそ効果が上がる、全市町村が参加していることによってメリットがあるというシステムが、この中になければならない。（上岡委員）
- ・ 連携中枢都市である高知市に立地する施設を共同利用する、あるいはその中の何かをシステムでつなぐことで、他市町村にメリットがもたらされる仕組みも考えられる。（上岡委員）
- ・ 県と高知市の役割分担については、仕事の内容による仕分けだけではなく、スピード感等も考慮すべき。（黒笹委員）
- ・ 役割分担検討の経緯は議論の前提条件であり、結論だけ示されても議論ができない。また前回出たアイデアが事業に反映されていないことも、検討の経緯の中でそうなったと思われるので、経緯がわかる資料を提示いただきたい。（久保委員）
- ・ 資料説明の際にいくつかの事業をピックアップしてご説明いただいたが、その内容を文章にしたような資料を提示できないか。（蝶野委員）
- ・ 県と連携中枢都市圏の棲み分けの哲学を最初にしっかり書くべきだと考えている。それがあって、初めて色分けの話が出てくる。40 事業についての具体的な検討内容が示されればよい。（杉本委員）
- ・ 資料には、県が何をするのか、高知市が何をするのか、その他の市町村が何をするのか書かれてない。（片岡氏）
- ・ 施策体系が固定されているわけであれば、区分けを大きくしてはどうか。また、順番も、高次都市機能は高知市にしかないので、最後にしてはどうか。（杉本委員）
- ・ 企画段階では、所掌を超えた分野横断的な俯瞰が必要になる。それが新たな企画立案の原動力にもなる。その制約を解消できないなら、自治体以外の担い手に解決策を求めるという視点で考えれば、解決の糸口が見えてくるであろう。（受田座長）
- ・ 予算を申請する際事業を分解しなければならないことがネックになるなら、総務省に交付金配分に関する規制緩和を求めているかどうか。（受田座長）
- ・ 課題は棲み分けながら議論しないと難しい。商工会で言えば、商店街は市が事業主体なので、そのような意味で県との棲み分けは重要である。また、商店街の衰退は大きな課題なので、そこをどうするかは、このような場で議論していただけるとありがたい。（久保委員）
- ・ 連携中枢都市圏の事業にしなくても、連携してできることはたくさんあるが、ビジョンの中に盛り込めば、財政的な支援が受けられ、その支援があれば、今までの連携の質を上げる、あるいは今まで以上の連携ができることになろうかと思う。（片岡氏）

#### [観光関連]

- ・ 観光分野は全般に関連するが、現時点では何でどのように連携するのかというところがわからない。地域資源であり文化である日曜市や伝統産業も観光に関連してくるので、具体的な内容を見ていきたい。(猪野委員)
- ・ 広域観光やリアルタイムでの人の動向をどう可視化できるかによって、圏域のポテンシャルが生かされているのか、どこに改善の余地があるのかが見えるようになると期待している。(受田座長)
- ・ 高知市を中心とした歴史的な財産であるよさこい祭りを活用してはどうか。(上岡委員)
- ・ よさこいは、観光の参加型メニューとして活用できると思われる。(受田座長)
- ・ よさこいは、徳島県の阿波おどりとあわせて考えれば、高知だけではなく徳島にも集客できる。(山本委員)

#### [交通関連]

- ・ 公共交通部門のテーマが1つ必要ではないか。(明神委員)
- ・ ICTを使った公共交通機関のあり方など、観光客が最もスムーズに移動できるような利便性の確保は、技術革新の社会実装にふさわしいので、議論すべき。(受田座長)
- ・ 高知市をハブにした物流を最適化できれば、産業連関表で示されたモノの移動が生み出す経済的な価値とリンクできる。将来的な技術革新をにらみつつ、議論を重ねていただきたい。(受田座長)
- ・ 認知症ドライバーが中山間地域で免許を取り消されると、生活や産業の面で大きな影響が出るため、そうした方々をどう支援していくかが課題。高知市にあるタクシー等の資源との連携のほか、白タクの規制緩和の提案等に対応していただきたい。(片岡氏)
- ・ 現状、交通は地域ごとに検討しているので、それを連続させていく方法が一番妥当という考え方もある。それを連携中枢都市圏の中でどう全体化するかは大きな課題である。一方で、行政のバックアップがあって初めて成り立っている交通もあり、様々な課題があるので、それを整理しながらの、社会性のある移動を保証するということになるであろう。(明神委員)

#### [空き家・空き店舗関連]

- ・ 空き家に関しては、高知市と他市町村では外部要因や内部環境が違うことを認識することが必要。(山本委員)
- ・ シナジーとは逆に、マイナスをゼロに持っていくような視点からも、事業を整理していただけるとありがたい。(蝶野委員)

#### [医療・福祉関連]

- ・ 高度医療、救急医療は高知市あるいはその周辺部に集中しているし、災害医療の分野

も含めて、取組をこのビジョンに盛り込むことで、さらに連携が進むことを期待している。また、僻地医療や地域地域の医療については、これからますます深刻化していくので、大いに期待したい。(片岡氏)

- ・ 介護サービス需要がこれからますます大きくなることを考えると、福祉の中に介護関係の項目がもう少しあってもよいような気がする。また、近い市町村が集まって介護サービスの共同研究をすとか、100歳体操をもっと広げるとか、もう少し介護や認知症対策の事業があってもよいのではないか。(上岡委員)

[その他]

- ・ ウの地域振興には農業のことしか書かれていないが、林業と水産業のことも書けないか。(杉本委員)

#### ■多様な主体による連携について

- ・ 四国の地方銀行4行と、連携して四国創生に取り組む「四国アライアンス」で、四国銀行が主管するまちづくり分科会では、ファイナンス面や事業計画作成、SPCの立ち上げなど、金融機関の知見を生かしてCCRCや市町村の連携に四国全域で取り組んでいくことを検討している。また、ブランディング分科会では、四国DMOを立ち上げ、四国遍路の活性化や四国周遊ルート作り、サイクリングツーリズムの普及に取り組んでいくことを検討している。(藤崎氏)
- ・ 観光に関しては、一昨年立ち上げた、物部川地域における高知県観光活性化ファンドのノウハウを、四国アライアンスにおける観光から6次産業化への新しい取組に活用できないかと検討している。(藤崎氏)
- ・ リバースモーゲージは、別の部署が継続して検討しているが、実際に対象となる件数はあまりないのではないかと。CCRCに金融機関の知見を生かすとすれば、ファイナンス面、事業計画の策定がある。(藤崎氏)
- ・ 全県で共通して、事業承継への取組を推進している。M&Aも含めた事業承継のノウハウは四国一であると自負しているので、その強みを生かした取組で、高知県経済の活性化や衰退抑制に貢献したい。(藤崎氏)
- ・ 高知県経済にとって大事なものは、やはりお金であり、資金繰りの支援と顧客の売上への貢献、この2つが一番大事と考えている。リバースモーゲージローンは、四国で初となる金融機関としての取組を準備しており、空き家については取組ができる部分はあると考えている。商店街の活性化は、高知市と他市町村との環境が大幅に違うため、高知県に合ったファイナンスを検討する必要がある。(山本委員)
- ・ 事業承継は、連携事業に盛り込むというよりは、そういう命を受けて我々が水面下で動くという性格のものである。(杉本委員)
- ・ この40事業が縦糸なら、情報技術は、そこに横糸を通すものである。情報技術の進展

も考慮した上で事業を考えることが、自分の役割だと思っている。大学のほうから「こんな技術がありますよ」という提案もできなくはないが、むしろ「こんなことが問題になっているが、それを解決するためにどんな技術がありますか」という質問をもらったほうがよい。(蝶野委員)

- ・ 幕末維新博の進め方が、1つの参考になるのではないか。地域会場を中心にして観光クラスターを形成し、滞在日数を増やす取組推進などで関係機関が連携する仕組みをつくり、プランのレベルをもっと上げるような取組をする。高知市に集中している宿泊施設から、県内全体の宿泊施設にさらに宿泊してもらうための仕組みづくりを一緒に検討していきたい。(猪野委員)
- ・ 高校生を高知市と他市町村をつなぐ紐にできないか。高校生の職業体験や社会勉強のための装置という視点で、事業に彼らを巻き込んでいくことが考えられるし、子どもはみんなに賛同してもらえるスーパーツールになるので、そのような意味でも、教育を連携中枢都市圏構想の中に組み込むことを検討してはどうか。取組の効果の可視化という意味でも、進学率や学力の向上、地域に残る子どもの数の増加などは、非常にわかりやすく、かつ地域の人たちの一番の関心事である。(黒笹委員)
- ・ 例えば工科大学も、社会マネジメント学部を中心に、様々な地域に対する教育と社会貢献を展開している。本日野嶋委員はご欠席だが、県立大学も活動を展開しておられる。我々も大学として、地域をフィールドにしながら教育、あるいは貢献をしていこうということで、いろいろな活動をしているが、連携中枢都市圏にどこまで高等教育機関がコミットできるかが、事業の企画をより洗練されたものにする上では鍵になっていくのではないかと感じた。(受田座長)

以 上